第 58 回　全国学生躰道優勝大会

大会実施要項

改定（Rev.）：0 版
作成日：2025 年 6 月 15 日

本要項に基づき大会を実施致しますので、記載内容を踏まえて稽古・審査等を計画頂き、各種目にエントリーして下さい。なお、**「種目別出場選手申込書」等の提出締め切りを厳守**の上、積極的に参加されますようお願い申し上げます。

大　会　会　長　　田中　勇悦
大会実行委員長　　春日　世生
大会実行副委員長　本田　拓馬

1. 大会運営・進行概要

1-1. 主催と後援

主催：NPO 法人　日本躰道協会
後援：スポーツ庁・埼玉県（予定）

1-2. 開催日時　：　令和 7 年 10 月 5 日（日）

1-3. 会場　：　埼玉県立武道館
〒362-0032
埼玉県上尾市日の出 4-1877　　TEL:048-777-2400
ＪＲ高崎線「上尾駅」（東口）」下車、徒歩約 25 分・タクシー約 10 分
ＪＲ上尾駅（東口）からバスが運行しています。
上尾市内循環バス［ぐるっとくん、上尾駅東口発、原市循環（水上公園先回り）］「水上公園入口」または「スポーツ総合センター」下車 徒歩 3 分（詳細は下記 HP をご確認下さい。）
https://www.saitama-budoukan.jp/shisetsugaiyou/access.html

1-4. 集合時間・場所　入館時間（予定）

	集合時間	入館時間	集合場所
大会役員	午前 8:25	午前 8:30	埼玉県立武道館 正面入口
出場選手	午前 8:30	午前 9:35	

※ 大会役員、選手共に入館 5 分前の集合（予定）となります。点呼、注意事項伝達等は、入館後にアリーナで行いますので、集合後、開場したら順次入館するようにして下さい。

観覧席については、大学毎に座席エリアを事前に決定し、着席・観覧して頂きます。
（観覧エリアの詳細は、別途ご連絡致します。）

入館後は更衣室や観覧席にて速やかに躰道着に着替え、**午前 8:50 までに開始競技選手のみ競技コートに集合**してください。それ以外の選手は観客席で待機してください。競技コートの開始競技選手全員で準備体操を行った後、諸注意事項の伝達を行います。
競技コートに上がるときや練習を行うときは、**ウィンドブレーカーなどの上着を必ず脱いで**実施してください。

1-5. 選手変更について

1) **個人種目出場選手の変更は一切できません。**
2) 団体種目出場選手の変更は、大会 5 日前の 9 月 30 日（火）19:00 までに団体出場選手変更届をメールで taido.univ@gmail.com までお送り下さい（厳守）。また、選手変更によって出場することになった選手が、**他の競技にエントリーしていない場合または補欠のみのエントリーであった場合は、出場費（¥9000／1 名）が別途必要**となりますので、団体出場選手変更届を提出するまでに所定の口座へ入金してください。
3) **新人団体法形競技のみ選手変更に関わる出場費の別途徴収はいたしません。**
4) 団体出場選手変更締切（9 月 30 日 19:00）～**大会当日競技予選開始（9:20 予定）まで**の間に、怪我、病気、体調不良、事故、その他の事由により大会に出場できず団体種目メンバーが棄権となる場合は、当該団体種目で補欠メンバー登録がある場合に限り、棄権選手の代わりに補欠選手

を充当できるものとします。

5） 上記の団体出場選手変更締め切り後に補欠選手適用を申し出る場合は、実行委員会へメール等により報告の上、了承を得ることとし、当該棄権選手は、エントリーした種目の全ての競技に出場不可とします。なお、棄権事由に関する証明書類等の提出は不要です。（例：医師診断書など）

6） 団体出場選手変更締切（9 月 30 日 19:00）～**大会当日競技予選開始（9:20 予定）まで**の間に、怪我、病気、体調不良、事故、その他の事由により一部選手が大会に出場できず団体種目の出場資格条件を満たさない場合で、**当該団体チームに補欠メンバー登録がない場合**は、棄権選手のエントリーした団体チームは棄権とします。

7） **競技予選開始以降（9:20 開始予定）は、後述のドクターストップによる補欠制度適用の場合を除き、如何なる理由であろうとも団体からの申し出による選手変更を認めません**のでご注意ください。

1-6. 競技開始　：　午前 9 時 20 分（予定）

体操終了後、「競技スケジュール」の一番初めに開始する種目に出場する選手は指定された競技コートへ集合し、選手係の点呼を受けるとともに指示に従ってください。

その後の競技に出場する選手は、それぞれの競技の**開始予定時刻の 10 分前までに集合**してください。但し館内放送があった場合には、その指示に従ってください。

複数種目出場選手で、競技時間が団体種目と個人種目で重複した場合、**原則として団体種目よりも個人種目を優先**させ、団体種目で重複した場合には**1 番目に実戦・2 番目に法形・最後に展開の順で出場**してください。**但し、競技コート役員から別途指示があった場合は、上記の優先順位に係わらず、その指示に従ってください。**また、競技種目が重複し他のコートへ移る場合は、当該競技コートの選手係にその旨を報告し、了解を得てください。

1-7. 開会式　：　午後 1 時 00 分～午後 1 時 30 分（予定）

点呼終了後、役員の指示に従って前年度の総合優勝校を先頭に北海道地区から順次整列してください。前年度総合優勝校の代表者は、総合優勝旗・総合優勝杯を準備し、速やかに所属大学の列に並んでください。

1-8. 閉会式

全競技終了後、役員の指示に従って開会式でプラカードを持った選手が所定の位置についた後、開会式と同様に整列してください。

1-9. 表彰式

閉会式の中で、全種目の表彰を行い、以下の褒章を授与致します。

- 総合成績・・・・・・・・・・総合優勝校には、優勝旗、優勝杯、賞状を贈呈します。
  総合第 2 位、第 3 位の大学には、賞状を贈呈します。
- 団体種目・・・・・・・・・・入賞したチームには、賞状とメダルを贈呈します。
- 個人種目・・・・・・・・・・入賞した選手には、賞状・メダルを贈呈します。
- 最優秀選手・優秀選手・・・受賞した選手には、賞状・盾を贈呈します。
- 技能賞・・・・・・・・・・・受賞した選手またはチームには、賞状・盾を贈呈します。

1-10. 会場の撤去

閉会式終了後全員で会場の撤去を行いますので、会場近郊の各大学の主将は全員速やかに協力するよう指示してください。大会進行役員は、それぞれが使用した備品をチェックし収納ケースに保管すると共にその他の備品類の梱包・搬出作業をしてください。

2. 競技について

2-1. 競技種目と出場枠

下表に競技種目及び出場枠の他、段級位資格要件等を示します。**出場資格から外れている選手またはチームの出場は一切認めませんので、間違いのないよう確認をお願い致します。**

競技種目	出場枠	段級位資格	注意事項	選手変更
男子個人実戦競技	3 名	初段以上の男子	プロテクター着用必須 面ピット着用選択可※5 試合時間 1.5 分（予選･決勝全て）	不可
女子個人実戦競技	3 名	初段以上の女子	プロテクター着用必須 面ピット着用選択可※5 試合時間 1.5 分（予選･決勝全て）	不可
男子個人法形競技	3 名	原則として 初段以上の男子※1	1・2 回戦：変体の法形 3 回戦以降：体の法形から選択※4	不可
女子個人法形競技	3 名	原則として 初段以上の女子※1	1・2 回戦：変陰の法形 3 回戦以降：陰の法形から選択※4	不可
男子団体実戦競技	1 チーム	原則として 初段以上の男子※1	1 チーム 5 名※2 プロテクター着用必須 面ピット着用選択可※5 試合時間 1.5 分（予選･決勝全て）	可
女子団体実戦競技	1 チーム	原則として 初段以上の女子※1	1 チーム 5 名※2 プロテクター着用必須 面ピット着用選択可※5 試合時間 1.5 分（予選･決勝全て）	可
男子団体法形競技	1 チーム	原則として 初段以上の男子※1	1 チーム 5 名※6、男女混合不可 体の法形から自由	可
女子団体法形競技	1 チーム	原則として 初段以上の女子※1	1 チーム 5 名※6、男女混合不可 陰の法形から自由	可
男子団体展開競技	1 チーム	原則として 初段以上の男子※1	1 チーム 6 名※6、男女混合不可 背番号着用	可
女子団体展開競技	1 チーム	原則として 初段以上の女子※1	1 チーム 6 名※6、男女混合不可 背番号着用	可
新人団体法形競技	2 チーム※3	令和 7 年 4 月以降に躰道部に入部した 5 級以下の男女	1 チーム 5 名※6 旋体・旋陰から選択	可

※1：「原則として初段以上」とは、監督の推薦があれば下記の級位も出場可とするという意味です。但し、出場種目申込み時に、「種目別出場選手申込書」のエントリー情報欄に監督推薦者であることがわかる様チェックを入れるとともに、各大学の監督は同申込書及び本要項の内容を確認し、提出を承認することを「書類確認・提出承認書」の提出により明示してください。

なお、監督推薦は人数不足などの理由で出場させるのではなく、あくまで原則規定している出場資格に相当する実力を有している選手に限り、推薦するようお願いします。

＜監督推薦の基準＞

8 月 28 日（木）までに下記の級位を取得しているものに限る。（見込み不可）

競技種目	監督推薦出場資格
個人法形	監督推薦により 2 級以上も可
団体法形	監督推薦により 4 級以上も可
団体展開	監督推薦により 4 級以上も可
団体実戦	監督推薦により 1 級以上も可

※2：団体実戦競技においては原則として 1 チーム 5 名ですが、3 人以上でエントリー可とします。

※3：新人団体競技においては、**最大 2 チーム**まで出場可能です。
このとき、**旋体チームには 3 人以上男子選手・旋陰チームには 3 人以上女子選手をメンバーに入れてください。**補欠選手により選手構成が変化する場合もこれを守ってください。前述の規定内であれば出場するチーム数を問わず、体・陰の指定はありません。
なお、2 チーム出場の場合、同一選手が 2 つのチームに重複して出場することはできません。

※4：個人法形競技の指定法形は 1・2 回戦変体（男子）変陰（女子）、3 回戦以降は、体の法形（男子）または陰の法形（女子）から自由選択です。

※5：面ピットは男女共に着用を選択できるものとします。ただし、団体実戦で監督推薦により**級位の選手が出場する場合は、男女共に必ず面ピットの着用を義務付ける**ものとします。
また、初段以上の選手でも、**当該選手の実戦競技の経験や実力を鑑み、各大学の指導者の責任において面ピットの着用有無を判断**頂く様、お願い致します。

※6：団体法形競技及び団体展開競技は、如何なる理由であろうとも、規定人数に満たない場合は棄権とします。（規定人数不足での採点無しの演武等の対応は致しません。）

2-2. 出場資格と制限

1） 出場資格

① 日本躰道協会に登録されている大学・短期大学の躰道部の部員で、令和 7 年 9 月分（第 2 期）までの協会費が登録時より継続的に支払われていること、「正会員」は令和 7 年度までの正会員費が継続的に支払済みであること。

② 看護学生、医歯薬・獣医学部 5・6 年生、留学生については、躰道部のある大学に学舎を持ち、同大学の躰道部員として活動し、上述の規定を満足する者は出場を認める。

③ 一般道場生については、協会費または正会員費を納入している学生であることを条件に、個人種目に限り出場を認める。なお、学生の定義は、学校教育法における高等教育機関のうち以下に在籍している者とする。

- 4 年制大学の 1～4 年生
- 6 年生制大学（医歯薬・獣医学部）の 1～6 年生
- 短期大学の 1～2 年生
- 高等専門学校の 4,5 年生（短大生扱い）

④ 躰道部のある大学に在学しているものの当該大学の躰道部には所属せず、一般道場に所属している学生については、本大会が大学対抗戦を基本とすることから、③項規定の適用外とし、当該学生が一般道場生として個人種目に出場することはできないものとする。

⑤ 以下の者は、本大会の学生の定義外とし、出場を認めない。

- 4 年生大学の大学院生
- 高等専門学校の 1～3 年生（高校生扱い）
- 学校教育法における専修学校の在籍者（いわゆる専門学校生）
- 教育機関のうち、通信制大学のみに在籍する者
- 教育連携制度等により『通信教育生』として 3 の高等教育機関に入学し、教育を受けているもの。
- ①～③の規定を満足しているが、③に規定する高等教育機関に初めて入学した後の経過年数が 6 年を超える者。（7 年目の留年生・別の大学に入学し直した場合など）
- 留年等により標準的な教育機関在籍年数を超過した者。（4 年制大学の 5,6 年生等）
- ①及び②に規定する躰道部員については、初めて躰道部員として活動する高等教育機関に入学した時点を始期とし、その後の経過年数が 6 年を超える者。また、一般道場生については、③に規定する高等教育機関に初めて入学した時点を始期とし、その後の経過年数が 6 年を超える者。（7 年目の留年生・別の大学に入学し直した場合など）

2） 出場制限
1 人 3 種目までとし、これに違反した場合は該当選手の出場種目はすべて失格となります。
『 3）推薦選手枠 』に該当する選手にも、この出場制限が適用されるので注意してください。

3） 推薦出場枠
前年度個人種目ベスト 3 選手のうち、今年度大会も出場資格を有する場合は、出場枠とは別に実行委員会の推薦で出場できます。

4） ドクターストップによる補欠制度
全ての団体種目に関して、大会途中怪我などによる棄権者がでた場合、申し込み時にエントリーされている補欠者を出すことができる制度。補欠の人数は、団体法形と団体実戦は各 1 名、団体展開は 6 名まで可とする。**補欠も 1 種目とするため、補欠エントリー種目含め 3 種目が上限**となります。

＜補欠適用条件＞

- **競技中の怪我によりドクターストップが下され、申し込み時よりエントリーされた補欠者がいる場合のみ、次の試合より選手変更が可能となります。**
- **変更の際は、各コート責任者に必ず報告し、本部で承認されてから変更となります。**
- **本補欠制度を適用した後は、棄権選手が回復したとしても競技復帰できません。**
- **ドクターストップが下された場合は、いかなる理由でもその後の試合には参加できません。ドクターの判断を無視した場合は、全競技の得点が無効となりますので注意してください。**

5） 棄権・ドクターストップ・補欠制度等について
全競技種目における、棄権・ドクターストップ・補欠制度等については、日本躰道協会審判局から 2014 年 9 月 5 日付で発行された同内容の通知書（本要項にも添付）に従うものとします。但し、同通知書と本要項の記載内容に差異がある場合は、本要項の内容を優先します。
※ 団体競技選手変更とドクターストップによる補欠制度は異なりますので、内容をよくご確認ください。

6） 注意事項
全ての競技種目において、出場資格と制限から逸脱して競技に出場していることが発覚した場合、故意または過失に係わらず、当該選手の所属する大学が出場する全ての競技の得点が無効となりますので、注意してください。

2-3. 選手の遵守事項
1） 出場選手は「躰道五条訓」を練習しておいてください。

2） 大会当日には、**学生証・「健康保険証」を必ず持参**してください。持参せずに写しで治療を受ける場合、一部の病院では医療費の全額支払いを求められる場合があります。
なお、大会に出場した選手は、実行委員会の手配にて保険に加入頂きますので、大会中の怪我による治療に対して保険申請を行いたい場合は、実行委員会までご連絡下さい。

3） 出場選手は**日本躰道協会公認の躰道着を着用**してください。躰道着の左右の上腕部に大学名や個人名を入れることや、一般的な常識範囲内のマークを取り付けることは認められています。

4） 出場選手は、躰道着の背面部に**所属する大学名のゼッケンを必ずつけてください。ゼッケンの無い選手の出場は認めませんので注意してください。**
なお、ゼッケンの大きさは、縦 7cm×横 20cm とし、白い布地に黒字（漢字）とします。

5) 団体展開競技に出場する選手は躰道着の背面部に**背番号のゼッケン（主役＝主・旋技＝1・運技＝2・変技＝3・捻技＝4・転技＝5）を、必ず取り付けて**ください。
なお、背番号ゼッケンの大きさは、約 20cm 四方とし、白い布地に黒字とします。

6) 実戦競技に出場する選手は、**指定プロテクターを必ず躰道着の下に着用**してください。また、面ピットは男女ともに着用を選択できるものとし、着用する場合は、**日本躰道協会公認の面プロテクターを着用**してください。ただし、**級位選手が実戦競技に出場する場合は、面プロテクターを必ず着用**してください。なお、プロテクターは 1 階競技会場に入場する前に着用し、会場での取り付けは一切しないようにお願いします。
※ 面プロテクターについて、怪我等の理由によりドクターからの特別な指示がある場合は、事前にご連絡ください。実行委員会及び日本躰道協会審判局で検討させて頂きます。

7) 出場選手は、**自身の段級位に合致した帯を着用**してください。

8) 道着上衣内にインナーを着用する場合は、原則**白色無地の T シャツのみ可**とします。白色以外の色や柄物は着用不可としますので注意してください。なお、道着着用時に見えなければ、胸位置にマークや文字など小さくワンポイントでプリントや刺繍されているものも可とします。

以上の規定に違反すると失格となりますので、注意してください。

更に、以下の場合も出場できないので注意してください。
- 躰道着の背面部に、所属大学名又は背番号のゼッケン以外の物を取り付ける。
- 故意に団体展開競技の番号に、団体・大学名を入れる。
- 左胸部の「躰道」のマークを他のものに替える。
- 袖口や袴を、短く切ったり捲ったりする(中段構えの際に、肘が出たりふくらはぎが出ているものは違反と見なします)。

2-4. 競技の判定

本院公認審判（研修生も含む）に審判を依頼し、「審判規定」に則って各競技の判定を行います。各競技の結果に従って、「総合成績※1」「最優秀選手・優秀選手※2」「技能賞※3」を決定します。

※1：総合成績は、各競技種目の入賞得点を下表の通りとし、大学単位で合計得点の高い順に表彰します。

順位別得点表 （点）

	優勝	2 位	3 位	4 位
団体種目	10	6	3	1
個人種目	7	4	2	1

合計得点が同じ場合には、優勝→2 位→3 位→4 位の順で多い方を上位とし、それでも同位の場合は、団体競技種目での入賞が多い方を上位とします。

※2：最優秀選手は 1 名、優秀選手は 2 名を上限として、大会会長・審判長の協議によって選出・決定します。なお、試合の状況により、該当選手がいない場合もあります。

※3：技能賞は、今年度のテーマである『変技』の優れた選手 1 名・もしくは団体 1 チームを大会会長・審判長の協議によって選出・決定します。なお、試合の状況により該当選手がいない場合もあります。

3. 関係書類の提出と大会出場費の納付

3-1. 提出すべき関係書類と作成者

No.	書類名称又は連絡内容	作　成　者	備　考
(1)	種目別出場選手申込書	指導者又は学生代表者	データ（Excel）提出
	昼食弁当注文数量	学生代表者	希望団体のみデータに入力し提出
(2)	書類確認兼提出承認書	各大学指導者	郵送・Fax・PDF（メール）で提出
(3)	各大学躰道部の紹介文等 大会プログラム掲載情報	学生代表者	Google フォームにて文章やデータ（JPEG）をアップロード
(4)	各大学躰道部の写真	学生代表者	
(5)	団体競技選手変更届	指導者又は学生代表者 **※指導者の承認・捺印済みの書類に限る。**	PDF（メール）で提出 （選手変更がある大学のみ提出）

3-2. 提出期限

- (1)(2)の書類は、**令和 7 年 8 月 28 日（木）午前中 必着**にて提出して下さい。
  - ※ **提出期限が過ぎた場合は出場を一切認めませんのでご注意ください。**
- (3)(4)については、**令和 7 年 8 月 21 日（木）午前中 必着**にて Google フォームにて回答及びアップロードをして下さい。
- (5)の書類は、**令和 7 年 9 月 30 日（金）19:00 必着**にてメール提出して下さい。
  - ※ **所定のフォームでの申請をしてください。**
  - ※ **提出期限後は、前述の選手変更にかかわる規程以外の変更は一切認めませんのでご注意ください。**

3-3. 提出先

- (1)の書類（Excel データ）の提出・連絡は、全てメールで taido.univ@gmail.com までお送り下さい。

- (2)の書類は、監督の署名・捺印とともに下記宛に郵送（必着）・FAX するか、署名捺印済みの同書類を PDF にして、メールで taido.univ@gmail.com までお送り下さい。
  （各指導者が作成した書類を学生代表者がメール等で送付頂く形で問題ありません。）

  ＜郵送・FAX 宛先＞
  〒164-0011
  東京都中野区中央 5 丁目 38 番 13 号エスエス 10　A702
  NPO 法人 日本躰道協会　事務局
  TEL:03-5342-2322　　FAX:03-5342-2321

- (3)の情報及び（4）の写真（JPEG データ）の回答用 Google フォームの URL は、追ってご連絡致します。

- (5)の書類は、監督（指導者）の署名・捺印済みの書類を PDF にして、メールで taido.univ@gmail.com までお送り下さい。

提出書類・必要連絡内容 一覧

(1) **種目別出場選手申込書 ＜Excel データ提出＞** **提出期限：8 月 28 日午前中 必着 厳守**

出場規定をよく確認し、所定の事項を入力して、**Excel データ**にて提出してください。
なお、データの編集・入力は、必ず Excel 2007 以降の Microsoft 純正ソフトウェアで行って下さい。（OpenOffice や Google スプレッドシートなどのソフトウェアは使用しないでください。）

＊**申込み〆切時点で、出場資格を満たしていない者の出場は一切認めません。**

Excel データは複数の sheet になっています。個人種目出場者の各地区大会入賞実績等がある場合も、同データに入力して提出をお願い致します。
また、種目別出場選手申込書には、昼食弁当注文数量入力欄があります。大会当日の昼食弁当を希望する団体は必要数量を入力の上、提出して下さい。なお、昼食代金（1 食 1000 円×必要数量）は大会出場費の納付指定口座へ**令和 7 年 8 月 28 日（木）まで**に振り込んで下さい。
昼食代金の振込の際は、大会出場費と合算した金額を入金いただいて構いません。ただし、**振込が完了したら、振込金額と振込日を実行委員会のメール宛（taido.univ@gmail.com）に連絡してください。**

(2) **書類確認兼提出承認書 ＜郵送・FAX・PDF 提出＞** **提出期限：8 月 28 日午前中 必着 厳守**

監督が本要項の内容とそれに従った種目別出場選手申込書となっていることを確認・承認した上で、署名・捺印をし、郵送もしくは FAX にて送付するか、PDF にてメールでお送りください。（指導者の責任で書類作成してください。当該作成書類を学生代表者が他の書類と共に代理送信することは問題ありません。）

(3) **各大学躰道部の紹介文 ＜Google フォームに回答＞** **回答期限：8 月 21 日午前中 必着 厳守**

プログラム上で各大学躰道部の紹介を記載しますので、下記内容を Google フォームにて回答下さい。（Google フォームの回答 URL は後ほどご連絡致します。）

- 団体名
- 部員数
- 部長 氏名 **※学生の代表者ではありません。各大学の部長先生のお名前を御連絡下さい。**
- 監督 氏名
- 監督補 氏名
- コーチ 氏名（2 名以内）
- 主将 氏名
- ホームページアドレス、SNS アカウント等
- 紹介文（120 字以内） **※120 字を超えている場合は、実行委員会で適宜削除します。**

(4) **各大学躰道部の写真 ＜Google フォームでアップロード＞** **回答期限：8 月 21 日午前中 厳守**

プログラム上で掲載致しますので、**データ（JPEG データ）**で提出して下さい。
写真は集合・整列したもとし、可能であれば、躰道着着用で監督の先生方と一緒に写っているものにしてください。

(5) **団体競技選手変更届 ＜PDF 提出＞** **提出期限：9 月 30 日 19:00 必着 厳守**

団体競技で選手変更がある場合のみ提出してください。変更して出場または補欠となる選手については、監督が本要項の規定を満たしていることを確認・承認した上で、署名・捺印をしてください。作成した書類は、PDF にて**実行委員会のメール宛（taido.univ@gmail.com）に**メールでお送りください。（指導者の署名・捺印済み書類（PDF データ）を学生代表者が代理送信することは問題ありません。）

3-4. 大会出場費の納付

1) **大会出場費は、一人あたり一律 9,000 円です。**
2) 前回大会個人種目ベスト 3 の選手が**その種目のみ出場の場合、出場費は 5,000 円**となります。
3) 選手変更によって出場することになった選手が、他の競技にエントリーしていない場合または補欠のみのエントリーであった場合は、出場費（9,000 円/人）が別途必要となります。選手変更届けを提出するまでに所定口座へ追加出場費を入金してください。
4) 補欠のみのエントリーの場合、申込み段階では出場費は不要です。ただし出場種目数制限の 3 種目以内で申し込むようにして下さい。
5) 補欠選手が当日出場することになった場合、必ず大会本部に補欠選手が出場する旨を申し出て下さい。出場費が必要な選手（補欠のみエントリーしていた選手）は大会終了後 **7 日以内**に所定口座へ追加出場費を入金してください。
6) 団体実戦競技監督の出場費は不要です。
7) 体調不良や怪我など個人の事由によって、個人種目または団体競技種目を棄権する場合、出場費の返金は致しません。

大会出場費は**令和7年8月28日（木）**までに下記口座へ振り込みで納付して下さい。

＜銀行振込の場合＞ ゆうちょ銀行：〇一九店（ゼロイチキュウ店）店番 019 預 金 種 目：当座　口座番号：0040646 口 座 名 義：特定非営利活動法人日本躰道協会	＜郵便振替の場合＞ 口 座 番 号：00120-0-40646 口 座 名 義：特定非営利活動法人日本躰道協会

4. その他

4-1. 個人情報の取り扱い

NPO 法人 日本躰道協会は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を順守し、以下の①～④の目的においてのみ、今大会へ出場を申し込む選手の個人情報を取り扱います。なお、大会への出場を申込まれた時点で、当該事項に了承いただいたものと致します。従って、出場後に下記の目的利用に関する削除や編集依頼等には応じることができませんので、ご了承ください。

① 取得した個人情報を資格審査、大会情報の編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他大会運営及び運営に必要な情報連絡等に利用します。また、主催・後援媒体等による報道目的の取材や、協賛・協力・関係団体によるサービスの提供等に利用することがあります。

② 本大会の映像・写真・記事・個人記録等は、NPO 法人 日本躰道協会が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがあります。

③ 大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合があります。

④ 競技者は本大会に関する著作権、肖像権その他一切の知的財産権を、大会参加の時点で NPO 法人 日本躰道協会に無償にて譲渡するものとします。競技者は NPO 法人 日本躰道協会または第三者による知的財産権の利用につき、著作者人格権を行使しないものとします。従って、NPO 法人 日本躰道協会は競技者に事前に通知することなく、また、改めて承諾を得ることなく、NPO 法人 日本躰道協会の判断により無償かつ自由に、NPO 法人 日本躰道協会または第三者をして、本大会に関する著作物等を自由に配信、複製、加工、削除、編集、頒布、二次著作物の作成その他の方法で利用することができるものとします。

4-2. 大会保険について

今大会に出場する選手は、大会実行委員会で傷害保険に加入します。大会中に怪我をされた選手は、実行委員会までお申し出下さい。保険内容や手続きの詳細については、保険適用の申し出のあった方へ直接保険会社よりご連絡を致しますので、ご対応ください。

実行委員会から治療費実費をお支払いする事や保険適用手続きの代行はできませんので、ご理解頂いた上でお申し込みされますようお願い申し上げます。

4-3. 会場の設営

令和 7 年 10 月 4 日（土）に埼玉県立武道館に集合し、大会実行委員の指示に従って競技コートの設営を行いますのでご協力ください。

尚、設営の詳細な時間や人員要請、設営完了後の会場開放（練習可を予定）については、追って実行委員会から各大学へ連絡を致します。

4-4. 宿泊の手配

各大学で予約手配を行ってください。

なお、埼玉県立武道館へ宿泊場所紹介などの問い合わせをしないようにしてください。

2014年9月5日

棄権・ドクターストップ・補欠制度等に関する通知書

NPO法人日本躰道協会 審判局
審判局長　ヒューゴソン アルヴァル

拝啓
新涼の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、標記の件、過日はアンケートにご協力頂き、誠にありがとうございました。その結果、下記の通り決定致しましたので、ご案内申し上げます。
つきましては、内容をご確認のうえ、関係各位への周知徹底をよろしくお願い致します。
すでに大会要項が出ている全国大会においては、可能な範囲でこの通知書の内容に準じて開催して頂きたいと存じます。（来年以降は、通知書の内容で統一して頂くようお願い致します。）尚、ご意見、ご質問等ございましたら、審判局までご連絡をお願い致します。

敬具

記

【棄権】

定義

・自らの意思によるもの。（怪我、遅刻等）

決定事項

・個人戦で棄権の場合、その後の該種目への出場は不可。
・団体戦で棄権した場合、その後の該種目への再出場を認める。
（例）
・怪我で午前中に団体実戦を棄権した後の次戦以降への再出場
※ただし、体力温存等戦略的な棄権の場合、再出場は認めない。
・棄権した種目以外の種目への出場は認める。

(実戦競技における判定例)
・赤の選手の蹴りが白の選手の顔面に当たり(失格を言い渡す程ではない)、白の選手が大事を取って自ら棄権を申し出た場合。
⇒赤に注意を与えた後、「白棄権につき、赤の勝ち」となる。

【ドクターストップ】

定義

・当日の医療班の指示によるもの。

決定事項

・ドクタースットップを言い渡された選手は、安全性の観点や現時点での医療班の充実が難しいことからも、これまで同様、該種目のみならず、その後のその大会の全ての競技(個人戦、団体戦に関わらず)への出場を認めない。

(例)

・午前中の団体実戦予選でドクターストップとなったが、チームが午後の決勝まで残った場合。

・2日間開催で1日目にドクタースットップを言い渡されたが、チームが2日目に残った場合(2日間開催でもその大会を一つと考える)。

(実戦競技における判定例)

・赤の選手が何もしていないにも関わらず、白の選手が突然骨折してドクターストップとなった場合。

⇒「白ドクターストップにつき、赤 一本」となる。

・赤の選手が例えば、倒れている相手の顔面へその場で何度も蹴りを繰り出し、白の選手がドクターストップとなった場合。

⇒「赤失格につき、白 一本」となるが、白はドクターストップのため、次戦には出場できない。

【補欠制度】

決定事項

・補欠も種目制限の対象とする。

・補欠制度を利用した場合、元の選手の復活は不可。

・怪我等やむを得ない場合のみ制度の利用可。

・各競技の補欠人員は以下の通りとする。

・団体法形競技：1名

・団体実戦競技：1名

・団体展開競技：1-6名

・補欠のみの選手の出場費もこれまで同様、選手と同額とする。

ただし、団体展開競技は補欠人員が何名であっても1名分の出場費とする。

・補欠の選手が出場しない場合でも、余計な混乱と煩雑な作業を避けるため、これまで同様、返金はしない。

【その他】

団体競技における決定事項

・団体戦において、棄権、ドクターストップ等により、決勝に出場するチームが 1～3 つになった場合、次の基準に則り、決勝戦を行う。

・団体法形競技：5 位以下のチームを順に繰り上げ

・団体実戦競技：繰り上げなし

・団体展開競技：5 位以下のチームを順に繰り上げ

実戦競技における決定事項

・個人実戦競技

・3 位決定戦及び決勝戦の 2 試合のみ延長戦を行う(1 分間を 1 回まで)。

・団体実戦競技

・人員が 3 名に達しない場合は、出場資格なし。

・代表戦は 1 回まで。

・1 試合目が先攻であったチームは代表戦では後攻となる。

・背番号は元の番号と同じとする。

・それでも勝敗が決まらない場合、その代表者同士による延長戦を行う(1 分間を 1 回まで。)。

・代表戦の延長戦でも勝敗が決まらない場合は、審判が内容を判断し判定を下す。

尚、上記の内容は日本躰道協会主催の全国大会で設定させていただくもので、面ピットに関しては、以下を正式なルールとして通知致します。併せてご確認のうえ、周知徹底をよろしくお願い致します。

・男女問わず、初段未満もしくは中学生以下の選手は必ず協会公認の面ピットを着用しなければならない。

・それ以外の選手は任意で協会公認の面ピットを着用することができる。

以上